

のかがからず

継目標を決める予定になっており、各国が対策を強化できるかどうか注目される。

公表された「地球規模生物多様性概況第5版（GBO5）」によると、世界で過去10年に森林が年470万ヘクタールのペースで失われた。野生動物の生息数は1970年以降、達成」、×は「達成できず」

半減	
水産資源を持続的に漁獲	
侵略的外来種の制御や根絶	△
サンゴ礁の健全性維持	×
陸域17%と海域10%を保護区に	△
絶滅危惧種の絶滅防止	×
作物・家畜の遺伝子の多様性維持	×

の主な達成状況

世界の森を焼き払ってつくられた

森林減少や種の絶滅 国連が報告書を公表

3分の1に減少、10年以降も減り続けている。これまで評価された約12万の生物種の27%に絶滅の恐れがある。サンゴ礁は温暖化と海洋酸性化の影響を受け、約6割は破壊的な漁業などの脅威に直面している」とした。

こうした状況を踏まえ「森林を含む自然生息地の損失速度の半減」「絶滅危惧種の絶滅防止」「サンゴ礁の健全性維持」など14項目は達成できなかったと結論付けた。

「陸域の17%と海域の10%を保護区にする」「侵略的外来種の制御または根絶」など6項目は一部達成と評価した。

陸の保護区は今年8月時点で15%以下、海は7.5%以下にとどまる。外来種を島しょ部で根絶した例があるが、ごく一部にすぎないとした。

愛知目標を採択した10年の名古屋市での締約国会議で日本は議長国を務めた。

米ぬか成分のサプリ投与データ分析

軽度認知障害 改善の研究結果

認知症の前段階とされる軽度認知障害の人に米ぬか成分のフェルラ酸とセリ科の植物ガーデンアンゼリカを主成分とするサプリメント（商品名「フェルガード」）を投与したところ、認知機能が改善したとする研究結果を、森山脳神経センター病院（東京）の堀智勝院長らのチームが15日までに国際オンライン専門誌に発表した。

軽度認知障害はもの忘れはあっても日常生活に支障はない状態で、年間10〜30%が認知症に進むことから認知症予防も重要な課題とされている。

研究への参加者を無作為に2群に分け、主治医や参加者に分からない形でサプリメントか偽物のいずれかを飲んでもらい、両群を比較する厳密な臨床試験で有意な差が出た。認知症を予防する効果が期待されるという。

チームによると、もの忘れの訴えがあり、東京などの5医療機関を受診して軽度認知

松本発着福岡線 来月一部を減便

FD

フジドリームエアライン（FDA、静岡市）は15日、県営松本空港（松本市）の福岡線について、10月旬の便の一部を減らすと発表した。福岡線は通常1日11日の計6日間、1日1とする。新型コロナウイルスの影響が収まらず、航空が落ち込んでいる状況を示した。

減便するのは、午後0分の福岡発と午後2時25分の松本発。午前7時55分の松本発と午後4時25分の松本発と通常通り運航する。FD報によると、減便は予約の低い便を選んでおり、予約の利用客には別便への替えを案内するとしている。